



# 2020横浜スポーツ学術会議

多様な人々が共に生きる世界をめざして：体育・健康・スポーツ科学の貢献

# The 2020 Yokohama Sport Conference

**Contributing to  
a Sustainable World**

September 8-12, 2020

Pacifico Yokohama  
Yokohama city, Japan

[www.yokohama2020.jp](http://www.yokohama2020.jp)



## 主催・後援

### 主催 2020横浜スポーツ学術会議 推進委員会

会長 **阿江 通良** JAASPEHS 代表・日本体育大学  
**深代 千之** JSPEHSS 会長・東京大学

### 主管 2020横浜スポーツ学術会議 組織委員会

組織委員長 **來田 享子** JAASPEHS 副代表、JSPEHSS副会長、  
日本学術会議分科会幹事

### 協力 International Council of Sport Science and Physical Education (ICSSPE)

### 後援 文部科学省（またはスポーツ庁）、日本スポーツ振興センター（JSC）、 日本スポーツ協会（JSPO）、日本障がい者スポーツ協会（JPSA）など ※予定・依頼中を含む

## 日程

	午前	午後	夕方／夜
9月8日(火)		受付開始 開会式・基調講演	歓迎レセプション
9月9日(水)	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	
9月10日(木)	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	
9月11日(金)	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター） 閉会式	ガラディナー
9月12日(土)		エクスカージョン 一般公開企画	

## 会議使用言語 英語（一部日本語）

## 会議の意義と開催目的

オリンピックの年に4年ごとに大規模な国際スポーツ科学会議が開催されるようになったのは、1964年東京オリンピックの時が最初であると言われています。2020年に再び東京でオリンピック・パラリンピックが開かれるこの機に、国際スポーツ科学・体育協議会（英:International Council of Sport Science and Physical Education, 略称:ICSSPE）の協力のもと、日本でこの歴史を継承する国際会議を開催し、当該分野と人間社会への発展に大きく貢献することを目指して、本会議は開催されます。

ICSSPEは身体活動やレクリエーション・スポーツの科学的研究を促進するために設立された国際機関です。1958年、パリにおいて国際スポーツ・体育協議会（ICSPE）として発足し、1982年に現名称となりました。ICSSPEには現在、約230のスポーツ・体育・スポーツ科学関係の国際・国内団体が加盟し、ユネスコ、国際オリンピック委員会（IOC）、世界保健機構（WHO）、国際体力医学会（FIMS）等とも密接な協力関係のもとで活動しています。ICSSPEは数百万人を数える当該分野の世界最大のネットワークをもって、学際的な協力関係を創造し、調査研究・教育・健全なスポーツ活動の提唱を通して人間社会の発展に寄与しています。

国際会議の開催が珍しくなくなった今日でも、本会議のような体育・身体活動・スポーツに関係する多分野・多業種の専門家が一堂に会し共同して、複雑化した社会における諸課題の解決の糸口を探り、将来を展望することは、大変ユニークで貴重な機会となります。

## 運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内 〒102-0075 東京都千代田区三番町2  
TEL: 03-3263-8695 / FAX: 03-3263-8693 / E-mail: yokohama2020-cl@c-linkage.co.jp